

令和5年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立佐伯中学校	校 長	松田 智広	生徒指導主事	秋田 智恵
取組事例名	『自発的・自治的な生徒会活動』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
・生徒会が中心となり、学校行事やボランティア活動を仕組むことで自発的に行動できる生徒を育成する。 ・生徒会が主体となり学校生活における問題提起や提案をすることにより、生徒自治の精神を養う。	・最善の努力をし、自己の目標を達成しようとする生徒 ・いきいきと活動し、向上しようとする生徒 ・郷土を愛し母校を誇りに思う生徒



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
4月「みそあじレンジャー」発足 ・新入生オリエンテーションで佐伯中生徒会が大切にしている「みそあじ」に関することを寸劇で紹介した。	生徒にめあてをもたせるために
5月「命の大切さを考える日」 ・いじめが潜んでいる行動や言動を寸劇で紹介し、いじめ撲滅を訴えた ・いじめ撲滅の標語を募集し、階段に掲示した。	・生徒会執行委員に課題を考えさせるとともに、目的意識を持たせて活動を行った。 ・各取組の始めに、全校生徒にそれぞれの目的を伝えた。
7月「1学期終業式」 ・生徒会アンケートの結果を報告 ・夏休みの生活で気を付けることを、みそあじレンジャーが寸劇で注意喚起を行った。	生徒の意欲を高めるために
10月「文化祭」 ・全校生徒を主役とした創意工夫あふれるオープニングエンディングを披露した。	・生徒会執行委員だけでなく他の生徒を巻き込んだ活動を行った。 ・「楽しい学校」を目指して、全校生徒に楽しんでもらえる全校レク等の活動を、定期的に仕組んだ。
12月「いじめ防止月間」 ・生徒会によるいじめ防止に関連する絵本の読み聞かせを行った。	生徒の頑張りを認め、価値付けるために
○ボランティア清掃、あいさつ運動、ロッカー整理コンテスト 生徒暮会、生徒会アンケート、マイスターバッジ取得者紹介 等	・活動を学校だよりや学校HPにアップし、保護者や地域に紹介した。 ・活動の振り返りを行った。 ・お昼の放送等で紹介や表彰を行った。



3 成果と課題

暴力行為は今年度1件である。昨年度と比較すると4件減少した。生徒会アンケート「生徒会活動に積極定期に参加している」で肯定的な回答をした生徒は87%であった。学校評価アンケート「学校生活に満足している」で肯定的な回答をした生徒は96%であった。いじめ認知件数は今年度10件である。本人や本人以外の生徒からの訴えから認知した。また、いじめを疑わせる行為をしているという報告を受け、互いにいじめではなかったが対応をしたケースが2件あった。いじめに対して生徒同士がアンテナを張っていることが伺えた。

引き続き「自主的・自治的な生徒会活動」を実施し、不登校生徒の減少に努めたい。